

# かじき図書館だより

平成29年度

6月号

TEL 62-2605

## 今月の展示



### の日を盛り上げる1冊

「お父さんの子どもの頃って、どんな時代だったの?」15歳の娘からの問いを機に、父は自分が育ってきた時代の「歴史」を振り返ることに。明日へ歩み出す子どもたちへの想いが込められた希望の物語です。



『娘に語るお父さんの歴史』  
重松清/著  
(新潮社)

## 。落語の世界を身近に



古典と新作を織り交ぜた落語と絵本のコラボレーションが、落語の世界へと引き込む1冊です。



『夢金』  
立川談春/文  
寺門孝之/絵  
(あかね書房)

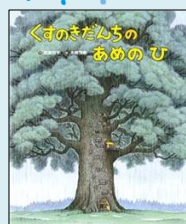


『だんご屋政談』  
春風亭一之輔/文  
石井聖岳/絵  
(あかね書房)

新作落語

古典落語

## 梅雨を楽しむ絵本



『くすのきだんちのあめのひ』  
武鹿悦子/著  
末崎茂樹/絵 (ひかりのくに)

人は、くすのきだんちの住  
るの、雨の日にもそれぞ  
うれ、過ごし方があるよ  
うです。皆、どんな楽し  
み方をするのでしよう。

## \*くも合戦のパネル展示\*



くも合戦は、島津義弘公が文禄・慶長の役(1592年~1598年)に参戦し、その陣中で兵士を元気づけるためにコガネグモ(メス)を集めて戦わせたのが始まりと伝えられています。

今年のくも合戦は、6月18日(日)です。  
場所: 加治木福祉センター

## ○新着図書を紹介

----- 一般書 -----

- \*父と私
- \*大相撲の解剖図鑑
- \*唱歌・童謡120の真実
- \*ほしい形が絶対見つかる! 毎日リュック
- \*夜家事でかたがた朝がラクになる
- \*ひとつの野菜で作っておき
- \*血糖値を体型別治療でどんどん下げる
- \*嫁をやめる日
- \*犬の報酬
- \*錆びた太陽
- \*救急病院

- 田中 眞紀子
- 伊藤 勝治
- 竹内 貴久雄
- ブティック社
- 金子 由紀子
- ワタナベ マキ
- 松葉 育郎
- 垣谷 美雨
- 堂場 瞬一
- 恩田 陸
- 石原 慎太郎



----- 児童書 -----

- \*学校の都市伝説は知っている
- \*妖精のあんパン
- \*こうえんのおばけずかん
- \*ジョージと秘密のミッサ
- \*戦後のサバイバル
- \*ねこのたくはいびん
- \*よるのようふくやさん
- 藤本 ひとみ
- 斉藤 栄美
- 斉藤 洋
- アレックス ジーノ
- もとじろう
- 奥野 涼子
- 穂高 順也

- \*あかちゃんごおしゃべりえほん
- \*だれかな?だれかな?
- かしわら あきお
- とよた かずひこ

### 乳幼児向け

## あいらよかどこ

### 小鳥神社 (こがらすじんじゃ)

地域住民の守り神として、網掛側の川原に祭られた、小鳥神社はご存じだろうか。

江戸時代は小鳥大明神と呼ばれ、木造の神像二体が祭られていました。幕末には、ここで寺子屋が開かれ、小鳥塾と呼ばれていました。明治以降祭神は、彦火々出見尊(ヒコホホデミノミコト)とされています。

南九州では、旧暦4月3日のちょうど苗代を作る頃、家々で餅や小麦団子を作り、それを「フラット」に入れて庭木や幹端に下げて、「コガライドン=カラス」にあげて、その年の豊作を願うという民俗信仰がありました。

小鳥神社は帖佐や国分などにもあり、鳥を神としてまつる信仰が強く、「加治木カラス」という言葉の本来の意味は、加治木地方はカラスを大切に信仰する土地柄だという意味だと言われています。

命の源である太陽の象徴であり、豊かさをもたらす神の使いと言われるカラスを、地域の守護神として祭ったのが、小鳥神社のおこりだろうと考えられています。

参考資料:『加治木町老人クラブ連合会』加治木町老人クラブ連合会

## \*おはなし会のお知らせ\*

6月24日(土)10時30分スタート!

わらべ歌や季節の絵本で、楽しい一時を過ごしませんか?  
お気軽にご参加ください♪



### 6月のカレンダー

休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

23日: 開館延長日(19時まで開館)/24日: おはなし会



始良市立図書館ホームページ  
(<http://lib-aira.jp/>)

でも図書館の情報を発信しています。